

新年 謹賀



町長
西江 栄二

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、平成31年の輝かしい新春を健やかに迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年中は、町民の皆さまをはじめ、町議会や関係機関のご理解とご協力を賜りましたことにお礼を申し上げます。

全国的に災害が多く発生した昨年は、道内でも北海道胆振東部地震や台風などの災害が、私たちの生活に多大な影響を及ぼし

ました。これを受け、町民の生命と財産を守るための対策が必要であると強く感じています。

また、気象変動が、作物の収量や農業所得にも大きく影響しました。今年こそは豊穡の秋を迎えられるよう願うとともに、これまで以上に関係機関と連携をとりながら、対応策に取り組みたいと思います。

一方で、明るい話題もありました。北海道横断自動車道余市IC―小樽JCTの開通や、倶知安―共和間の着工、さらに、北海道新幹線事業に伴うトンネル工事などが進み、高速交通ネットワークの形成へ大きく動き始めています。

昨年12月には、倶知安町宿泊税条例や町内会加入促進条例が成立し、本町が抱える

課題の解決に向けて前進したところで、本年は、役場庁舎建設の他、北海道新幹線開通に向けた宅地造成や第一俱登山橋の架け替えなどの事業について、限られた財源の中で創意工夫しながら邁進していきます。

さて、本年10月にはG20観光大臣会合が、5月にはそれに向けた準備会合が開催されます。国際リゾートとしてのわが町を、国内外に広く発信する絶好の機会と捉え、その成功に向けて全町をあげて取り組みますので、ご理解とご協力をお願いします。

結びに、本年が皆さまにとりまして、健康で明るく、幸せな年になりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



議長
鈴木 保昭

あけましておめでとうございます。皆さまには、清々しく希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、G20観光大臣会合の倶知安町開催決定、北海道横断自動車道倶知安―共和間の着工など、未来への明るい話題が感動と夢への起点となる年でした。

一方で、大雨や記録的な台風の影響が農産物へ影響を与えたことで、改めて自然災害に対する備えの大切さを痛感させられた

年でもあります。

現在、役場庁舎の新築に向けた計画がさまざまに皆さまの意見を反映させながら、2021年3月の完成に向け進んでいます。また、8月には倶知安厚生病院改築への支援を北海道厚生連から提案されています。地域のセンター病院として守るものは守る、その心意気の中で羊蹄山麓の町村長による話し合いが今後進められていきます。その後、議会ですっかりとした議論をしていきます。

新幹線のトンネル工事も進む中、一部沿線で移転を迫られている方がいます。住み慣れた家を手放すことは断腸の思いですが、町が移転のための土地を用意するなど積極的に関与しており、これも定住人口の

安定と故郷に住み続けたいとの皆さまの思いを受け止めての政策だと思っています。

昨年12月、倶知安町宿泊税条例が議会で可決し、実際の運用については今後も議論されます。財源の少ない倶知安町にとって、明日の観光都市としてのスタートです。

これからも、議会は外へ出て町民の皆さまの声を直に聴かせていただき、所属委員会での議論や、議員による政策提案など、議員本来の権限と義務を軸に町民の側に立ち、取り組んで参ります。

新しい元号がスタートします。やらなければならぬことが山積していますが、どうか倶知安町民みんなで力を合わせて頑張りましょう。